

審査結果報告書

2024年 1月 5日

主査 氏名

武田 啓



副査 氏名

天野 英樹



副査 氏名

長 明純



副査 氏名

加藤 一喜



1. 申請者氏名 : 山田 泰史

2. 論文テーマ : Noninferior oncological outcomes in adults aged 80 years or older compared with younger patients who underwent radical nephroureterectomy for Upper tract urothelial carcinoma
(上部尿路上皮癌に対して根治的腎尿管摘除術を行った80歳以上の高齢者と若年者の比較における非劣勢腫瘍学的転帰の検討)

3. 論文審査結果 :

申請者らは上部尿路上皮癌に対して根治的腎尿管摘出術を行った451人の患者を対象とし、64歳以下、65歳から79歳、80歳以上の3グループに分けて比較し高齢患者への本手術の有用性について検討した。その結果80歳以上の患者ではより若い患者と比較して腫瘍学的転帰には統計学的に有意差は認められず、根治手術に耐えられる高齢患者にとって外科的治療が有益である可能性を示した。高齢癌患者の治療方針は常に議論となるところであるがその一助となる重要な研究である。一方、申請者が考察しているようにさらに細かいデータ解析も求められる。また、ロボット手術によって低侵襲化がますます進むことが期待されこれらの検討も今後は望まれる。

審査では申請者が自己の成果を発表し、審査員それぞれの質問にも的確に答えていた。論文には新規性、独創性が認められ、副査および主査の協議により学位論文としてふさわしいものと判断した。